

鯖江市議会報

第248号

令和6年
2月22日発行

【今号の表紙】

長友 友里 さん
舟津町に咲く花

特 集

令和4年度 決算

～私たちの税金は、どう使われた？～

■ 令和4年度 決算	2
■ 第443回 12月定例会	4
■ 議会との語る会を開催しました	5
■ ここが聞きたい！代表質問	8
■ ここが聞きたい！一般質問	9



鯖江市議会を
もっと詳しく！

令和4年度

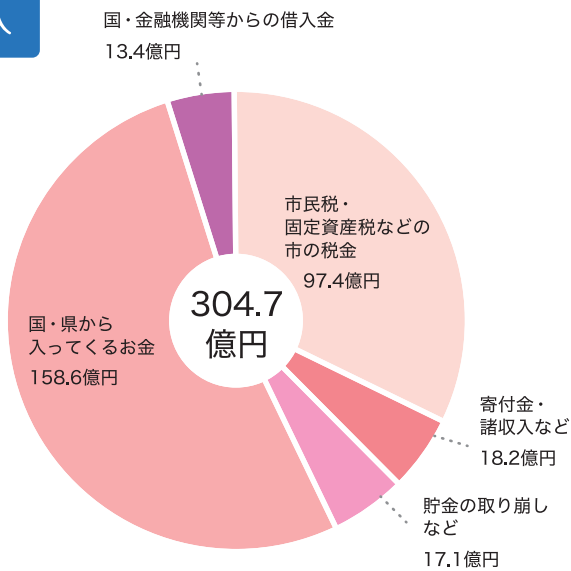
私たちの税金は、
どう使われた？

決算

一般会計

税金などを財源とし、福祉や教育、まちづくりなど市の基本的な行政サービスを行うための会計です。
このほかに、特別会計（国民健康保険事業特別会計など）、企業会計（水道事業会計など）があります。

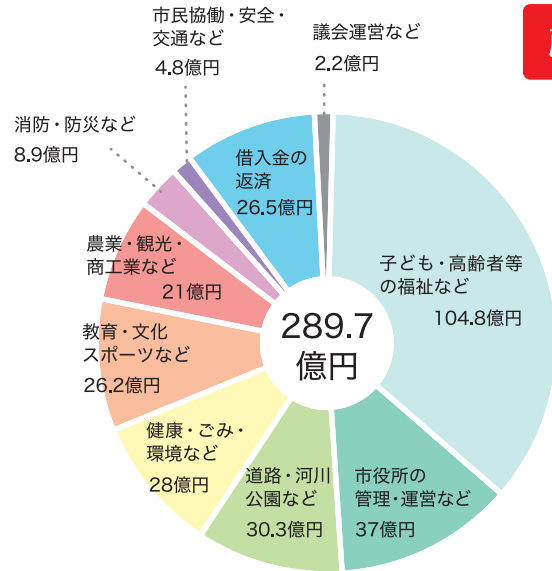
歳入



【前年度比 △2.1億円 △0.7%】

市民1人当たり 44.6万円

歳出



【前年度比 △5.1億円 △1.7%】

市民1人当たり 42.4万円

実質収支は、12.2億円の黒字

歳入額から歳出額を引いた15億円から、令和5年度へ繰り越して使用する2.8億円を引いた金額です。

主な取組

〈新型コロナウイルス・物価高騰対策〉

新型コロナウイルスワクチン接種関連

集団・個別接種の実施や接種体制の確保など

2億5,624万円



給食費補助事業

保育所・幼稚園・小中学校等の給食費の一部補助

1億9,585万円



電気・ガス・食料品等価格高騰 緊急支援給付金

住民税非課税世帯への支援

1億8,375万円



さば割クーポン発行事業

さば割クーポン発行による市内小規模店の消費喚起

1億3,915万円



〈その他の取組〉

ふるさと納税推進事業

返礼品や納税サイト増設などのふるさと納税の推進

4億282万円



食品産業の輸出向け施設整備費補助金

輸出拡大のための施設・機械の整備

3億3,571万円



北陸新幹線関連道路整備事業

北陸新幹線延伸に伴う、市道の付け替え工事など

7,765万円



出産・子育て応援事業

妊娠から出産・子育て期までの伴走型相談支援と
妊娠・出産時における経済支援

5,594万円



※金額は端数処理をしています。

※市民1人当たり金額は、令和5年11月末の人口で計算しています。

総務分科会

早期に退職する職員が多い理由は？

Q 退職者24人のうち、定年以外の早期退職者が13人となった理由は、個人の事情よりも、市役所組織に問題があるからではないのか。

A 若い職員の退職者が多いが、結婚や転職などの若年層ゆえのライフステージの大きな変化や職業観の多様化による影響が大きいためと思われる。

Q うつ病などの精神的な病気になる職員も多いが、休職後の職場復帰を支援する体制は整っているのか。

A 不安軽減のため、勤務時間や職務内容を調節するなどの「試し勤務」を実施している。また、精神科医によるメンタルヘルス相談を毎月1回程度行い、復帰後の状態を確認し、疾患の再発防止を図っている。



組織の課題として対策を

令和4年度

決算審査

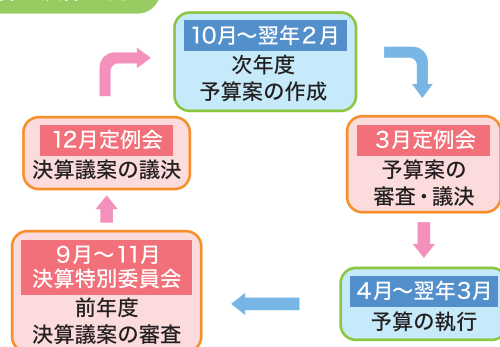
決算特別委員会

令和5年9月から11月にかけて、前年度の予算の執行が適切に、効率的に行われたかを審査しました。審査で出された意見や要求などは、令和6年度の予算編成に反映されます。

議決の詳細は、p.14に掲載しています。

認定

予算～決算の流れ



産業建設分科会

海外で売れる商品開発の成果は？

Q 海外で売れる商品を開発し、消費者動向調査を行う目的で、越前漆器協同組合に300万円の支援をしているが、ヨーロッパ市場での売上結果は80万円であり、十分な成果があったとは言えない。

この結果を踏まえ、今後どのような施策につなげていこうと考えているのか。

A ヨーロッパでは、日本文化、特に伝統工芸への関心が高く、丁寧な製造過程や素材の貴重さを伝えることで、国内の2倍以上の価格でも良心的と受け止められ、3～5万円以上の高価格商品の購入もあった。また、機能性よりもインテリアとしてのデザイン性を重視する傾向をつかめたことも大きな収穫だった。

今後は、各事業所の特色ある商品とマッチする市場に向けた商品開発や販路開拓につなげていきたい。



目標や成果を見据えた施策設計を

教育民生分科会

子ども子育てトータルサポート事業の課題と今後は？

Q 産まれる前から小学校入学までの、子どもの成長過程に応じた7つの支援事業を実施し、育児の相談や支援事業への参加につなげることを目的としているが、課題や今後の方針は。

A 経済的な支援を含めた、育児の相談や様々な支援事業への参加につながっている。課題としては、情報を「広報さばえ」や支援センター発行の「子育て支援ネットワークだより」、市の公式LINEやホームページ、各SNSなどで発信しているが、分かりにくい等の意見があるため、市内外に広く周知できるよう、子育て中の若手職員を中心に検討しているところである。

今後も安心して子どもを産み育てることのできる環境づくりを進め、市全体で子どもの成長や子育てを応援していくまちになるよう努めていく。



市全体で子育てを応援できるまちに

第443回 12月定例会

【会 期】 11月29日～12月22日(24日間)

【議決内容】 市提出議案24件を可決し、決算議案8件を認定、陳情1件を不採択、専決処分1件を承認、人事案件2件に同意したほか、議員提出議案1件を可決しました。3つの常任委員会の審査内容は、p.6～p.7に、全議案の議決の詳細は、p.14～15に記載しています。

令和5年度 一般会計12月補正予算案を審査

可決

11億7,010万円

〈補正予算案の一部〉

燃料高騰・物価高騰対策

約9,405万円



電気料金等の高騰により、影響が出ている公共施設や障がい者・高齢者施設、私立保育所・こども園、地域公共交通に対し、支援を行う。⇒p.7

ふるさと納税推進事業

2億円



ふるさと納税の収入が当初の想定よりも増加することが見込まれるため、返礼品等の予算を追加する。

デジタル教科書等購入費

4,053万円



令和6年度から新たに使用する教科書が採択されたことに伴い、教員用の指導用図書やデジタル教科書を購入する。

鯖江中学校仮校舎整備

1億5,290万円



鯖江中学校の長寿化工事期間における生徒の学習・生活環境確保のため、鯖江高校丹南キャンパスを仮校舎として利用するために必要な整備を行う。

子ども医療費

7,750万円



令和5年4月診療分からの、高校生相当年齢以下の子どもの医療費を無償化したことに伴い、当初の見込みよりも予算が不足したため追加する。

危険ブロック塀等安全対策事業補助金

200万円



自然災害により倒壊の危険性がある、通学路や避難路に面したブロック塀の除却や建て替えに対する補助金を交付する。
⇒p.6

※掲載の写真はイメージです。

指定管理者の指定

可決



公共施設の運営や管理を、ノウハウのある民間事業者や市民活動団体などに委託する指定管理者を指定する。(期間：R6.4.1～R11.3.31)⇒p.6,7

〈今回指定管理者の指定を受けた施設〉

市民活動交流センター(さばえNPOセンター)、さばえSDGs推進センター、健康福祉センター、農林業体験実習館(ラポーゼかわだ)、ふれあいみんなの館・さばえ、越前漆器伝統産業会館、道の駅西山公園、都市公園等、尾花キャンプ場

請願・陳情の概要

請願・陳情とは？



地方公共団体等に対し、困っていることや意見・要望について、公的な機関へ改善などを要望するよう申し出ることです。議員の紹介がないものを陳情、紹介があるものを請願と呼びます。

陳情第3号 健康保険証廃止の中止を求める陳情

令和5年6月にマイナンバー法等の改正案が国で可決され、令和6年の秋より現行の健康保険証を廃止し、マイナンバーカードに一本化することとなったが、別人への誤交付や誤った紐づけなど、数多くのトラブルに対する国民の不安は大きい。また、令和5年10月1日現在の累計申請率は約78.4%で、うち健康保険証の登録は約57%にすぎない。

健康保険証の廃止を一時延期し、現在の健康保険証を存続させることを求める。



賛成

トラブルが解消し、カードの取得率が格段に向上するまでは、マイナ保険証へ切り替えるか、現行の健康保険証を使用するかどうかは、個人の選択に委ねればよいのではないかと考える。

反対

一つのカードに様々な機能が備わることは非常に便利であり、カードを普及させ、デジタル化により利便性を高めようとする国の施策は理解できる。

現在のトラブルは、国の責任で解消していくべきであり、解消していけば普及率もおのずと向上すると考える。

マイナ保険証に切り替えていない方には、資格確認書が交付されて、医療機関を受診できないという事態にならないのであれば、問題ないのではないかと考える。

不採択



「鯖江市くらしをよくする会と議会との語る会」を開催しました。

11月25日に、鯖江市くらしをよくする会の会員13名と議員8名が参加し、エシカル消費や食品ロス削減をテーマに、議会との語る会を開催しました。

まず、くらしをよくする会の取組や、エシカル消費・食品ロス削減の説明、啓発の寸劇の動画での紹介があり、その後2班に分かれて意見交換を行いました。会員の方からは、会の認知度や会員数が増えないこと、フードドライブの問題点などの意見が出されました。

鯖江市くらしをよくする会

1974年発足。消費生活に関する啓発パネル作製、契約トラブル防止寸劇、買い物袋持参運動、学習会などを通して、一般の市民に対して啓発活動を行っている。

* 詳しくは、鯖江市HPへ ⇒



語る会でいただきました意見・ご要望は、今後の議会活動や政策提言につなげてまいります。



議会等改革推進特別委員会

12月21日、法政大学法学部 土山 希美枝 教授を招き、「開かれた議会に向けた取組を考える」をテーマに研修会を開催しました。

研修会には15人の議員が参加し、講師からは、「多くの住民は議会活動を知らない。地方議会は社会にある多様な意見を公開のヒコバで議論し、決断することで、市の政策や制度をより良い状態に向かわせる『政策議会』であるべき。無限にあるまちの課題の中から、市民との意見交換を通して抽出し、話し合い、議会として決断する。その過程や市民の声をもとに出された意見の成果を市民に伝える仕組みが必要」との説明を受けました。

また、全国の地方議会の開かれた議会に向けた先進的な取組についても学び、理解を深めました。



さばえの未来に向けた特別委員会

11月15日に、福井県未来創造部 藤丸 伸和 部長を招き、県が令和2年7月に策定した「福井県長期ビジョン」についての研修会を開催しました。

令和2年策定の福井県長期ビジョンは、北陸新幹線金沢・敦賀間開業など、100年に1度の大きなチャンスを迎える一方で、人口減少という課題を抱える福井県にとって、今後20年の指針となるものです。これは、鯖江市が2040年の展望を見据え、現在策定中の「(仮称)鯖江市将来ビジョン」にも関わります。

講師からは、基本理念や目標のほかに、策定には、県内各地の様々な年代や分野の方との意見交換等を行い、「県民の声」を生かしたビジョンづくりを心がけたことや、毎年度の主な施策を「実践目標」として公表・実行していること、ビジョンの広報にも努めていることなどの説明を受け、住民参加の下での策定や、策定後その実践を進めていくことの重要性について理解を深めました。



総務委員会

【議案第80号】 令和5年度鯖江市一般会計補正予算 第7号

危険ブロック塀の 安全対策への支援は？

200万円

説明 9月に民家のブロック塀が崩れ、小学生が負傷する事故が発生した。その後、市民から除去等の補助への問合せが急増し、現在39件の申請がある。当初予算で計上した100万円に加え、10月に300万円を追加したが不足するため、さらに200万円を追加する。

問 これまでの通学路現地調査で、対応が必要とされた箇所はどれくらいあったのか。また、その中で今年度に申請があった件数は。

答 平成30年調査時の未対応55件に、今年度の調査で追加された24件を合わせた79件の対応が必要と考えられ、そのうち申請は3件あった。通学路以外にも、対応が必要と考えると考えられるため、所有者や管理者に対し、補助メニューを活用した除却などの安全対策を啓発していく。



危険ブロック塀の安全対策を

【議案第94号】 さばえSDGs推進センターにおける指定管理者の指定について

さばえSDGs推進センターの 指定管理者の応募状況は？

説明 令和6年度から指定管理者制度が導入されるさばえSDGs推進センターについて、こしの都ネットワーク(旧:丹南ケーブルテレビ)が100%出資している(株)メディアビジョン1件から応募があり、5年間(R6.4.1 ~ R11.3.31)の指定管理者候補者として選定した。

意見 候補者は、メディア企業として、テレビやSNSなどを活用した情報発信を得意としていると思われるが、それにとどまらず、あらゆる面で開拓精神をもって、事業を実施してほしい。

答 メディア企業としての特性を生かした事業展開はもとより、エンターテインメント、スポーツ、文化などの分野を活用し、SDGsの推進、市民への啓発や浸透に力を発揮してもらえ、ことと期待している。



様々な分野を活用した
事業展開に期待

産業建設委員会

【議案第80号】 令和5年度鯖江市一般会計補正予算 第7号

電気料金高騰中の 公共施設の運営状況は？

約346万円

説明 電気料金等の物価高騰などにより、管理運営に影響が出ている施設に対し、運営を継続できるよう追加支援を行う。

(内訳) 環境教育支援センター	23万4,000円
ふれあいみんなの館・さばえ	30万4,000円
ラボーゼかわだ	292万3,000円

問 企業でも、節電対策を講じて自己努力をしているが、施設に対して節電努力をするよう指導は行っているのか。

答 節電の指導は行っており、成果も現れてきている。今後も節電を徹底するよう、引き続き指導を行っていく。



まずは自分のできる節電対策を

【議案第80号】 令和5年度鯖江市一般会計補正予算 第7号

市営住宅の移転補償と 将来の市営住宅の在り方は？

158万円

説明 建物の老朽化等により、安全性が確保できない市営住宅の入居者に対し、別の安全な市営住宅等へ移転する費用を補償する。

意見 市の特性や時代の変化に柔軟に対応した市営住宅の検討を進めてほしい。例えば、高齢者や単身者に特化した住宅を設けるなど、新しい感覚でアイデアを出し、挑戦してほしい。

答 現在、住宅を建設する構想はないが、将来建設する際には、時代のニーズや市の方針、福祉的な側面も考慮しながら検討したい。



市の特性や時代の変化に
合わせた市営住宅を

教育民生委員会

【議案第80号】 令和5年度鯖江市一般会計補正予算 第7号

育てやすい まちづくり基金とは？

1億円

説明 子育てしやすいまちづくりの推進や施設等整備の財源とすることを目的に、ふるさと納税制度の寄付金の一部を積み立てる。

嚮陽会館に計画しているNPOセンターと屋内遊戯施設の機能を取り入れた複合交流施設のほか、児童センターや保育所、幼稚園等の整備など、今後の子育て環境のさらなる充実に生かしていく。

問 嚮陽会館に複数の施設機能を集約し、相乗効果を得るため、どの場所にどの機能を配置するかの検討はされているのか。また、駐車場の不足や不審者対策等の安全面の課題もあるのではないか。

答 現在、計画策定のために市民の意見を聞いている段階であり、今後ゾーニング等について計画していく予定である。また、駐車場については課題として検討がされており、不審者に対する懸念についても、慎重に検討し議論していきたい。

【議案第101号】 鯖江市尾花キャンプ場における指定管理者の指定について

尾花キャンプ場の今後の方針は？

問 今年の10月に委員会で現地を訪問したところ、水源・電気など施設の老朽化が著しく、近年のキャンプ需要とはかけ離れた、整備が必要な施設であることが確認できた。

今後の方針を、今回の指定管理の期間(R6.4.1～R11.3.31)内に示していくべきではないか。

答 できるだけ早い段階から、指定管理者や地元尾花町と協議していく必要があると考えている。

指定管理期間5年間のうち、3年目までを目途に、次の更新を行うかどうかについて、方向性を明確にしていきたい。



尾花キャンプ場の後は

ここが聞きたい！

代表質問

代表質問とは…

市の様々な課題等について、議員が会派を代表し、市長や理事者に対して考えを聞くものです。毎年12月定例会にて、3名以上の議員が所属する会派が質問します。



ふくはら としひろ
福原 敏弘〔さばえ結の会〕



令和6年度当初予算編成について

問 令和6年度当初予算編成の基本方針は。

答 市長 本市が目指す将来像の実現に向けて、『つくる、そだてる、さばえる』をスローガンに、「市民主役で日本一活気あるまち」と「ワクワク子育て日本一のまち」の2つを軸に進めていく。そのため、市民主役の場づくり、子育て世帯・若者支援、人口減少対策、物価高騰対策、脱炭素・環境負荷低減、DXの活用、産業支援、地域ブランド力の向上、新幹線開業・冠山峠道路開通・万博開催を見据えた取組といった、9項目に重点的に予算配分する編成方針とした。

鯖江駅東口整備について

問 鯖江駅東口整備の今後の方針は。

答 市長 事業手法の見直しや必要性などを再検討し、北陸新幹線金沢・敦賀間開業後の2年間をかけて、利用状況等の実態調査や利用者等の意見収集を行い、基本計画

の再検討については、3年後をめどに着手していきたい。ハピラインへの移行後は、駅前ビルや中心市街地の空き店舗対策、駅周辺のにぎわいづくり、現駅舎のコンビニ跡地の利活用など、人が集まる場所づくりにつながる取組については、できるだけ早く着手していきたい。

経済回復への今後の取組について

問 ものづくり産業の現状と今後の発展に向けた取組は。

答 市長 企業訪問を行った事業所の約半分が後継者不在としており、人材定着・確保のために、働きやすい職場環境整備への支援や、先端設備導入の補助金制度の創設などを行っている。また、消費者ニーズ等の時流を捉えた企業活動を推進するため、越前市と合同で越前鯖江デザイン経営スクールの開講やビジネスプレゼン塾など、様々なビジネススキルを学べる場を提供している。これらの事業を活用し、今後の企業経営の課題解決につなげていきたい。

【そのほかの質問】

- ・スマート農業への支援
- ・いじめ問題への対応
- ・高齢化社会への福祉の充実
- ・除雪に関する県との連携



かえりやま あきお
帰山 明朗〔新清風会〕



鯖江市の財政状況について

問 市の財政状況について、未来に負担を残さぬよう、財政健全化にしっかり取り組むべきではないか。

答 市長 本市の財政状況は、健全化判断比率などの財政指標は良好だが、中長期で捉えると今後の財政需要が増加傾向にある一方で、人口減少や高齢化により、歳入の大きな伸びは期待できないため、確実に悪化するものと考え。特に、公共施設の長寿命化だけでも数億円から数十億円規模の事業が今後15年以上続くなど、極めて大きな財政需要が控えているため、市債残高が確実に上昇していくと考える。市としては、急激な市債残高の増加等による財政悪化を抑制するため、今後の財政需要への備えとして、基金残高を可能な限り確保していくことや、今後の大型事業の年度間のバランスを調整していくことを基本と考えている。その上で、どうしても起きる財政需要の年度間の差異は、基金の取崩しを行いながら財政負担を平準化するとともに、可能な限り交付税措置のある優良債を活用するなどの工夫をし、財政健全化を図ってきたい。

魅力ある産業の創出・事業継承・人手不足への対応・支援策について

問 物価高騰などにより、厳しい状況にある市内事業所の支援のため、補助金制度の拡充を行うべきではないか。

答 様々な補助制度を設けているが、社会経済情勢の変化に応じ、随時見直しや適正化を図る必要がある。企業や業界、産業界との意見交換の際に要望を多々いただいております。9月補正では、エネルギー価格高騰に伴い、大きな影響を受ける事業者の時期を逃さず対応するため、「鯖江市ものづくり企業等エネルギー価格高騰対策給付金」、省エネルギーや高効率化につながる設備等を導入する製造業者を対象とした「エネルギーコスト削減対策補助金」を制度化した。今後の補助金制度の拡充については、事業者の声をしっかり聞き、検討し取り組みたい。

【そのほかの質問】

- ・佐々木市長の3年間を振り返っての所感等
- ・北陸新幹線敦賀開業後のまちづくりについて
- ・市民主役のまちづくりについて



きむら あいこ
木村 愛子〔市民創世会〕



鯖江駅再整備計画見直しについて

問 3年前の議会答弁で、県や国、JRなど関係機関と協議すべきことを整理し、ハード、ソフトの両面から駅周辺のまちづくりを検討すると述べていたが、整備計画の見直しに至り、3年後をめどに再計画に着手することとなった。その間の市民の利便性とまちのにぎわいについて、どう考えていくのか。

答 市長 大きなプロジェクトであり、慎重に考えて進めるべきと判断した。利便性については、利用者にアンケート調査を行うなどを予定しており、意見を踏まえ、できることには着手していく。あわせて、近隣住民や学生、駅周辺のホテル利用者の利便性の向上や、にぎわいづくりについても積極的に取り組んでいく。

問 費やした行政コストに対する、市長としての責任は。

答 市長 基本計画をはじめ、地盤調査や基本設計などとして約6,000万円の費用となったが、事業費の詳細な算出や地盤の強度などは調査をしなければ分からないものであり、必要最小限の費用として執行した。今回この

ような決断を下したが、駅周辺のまちづくりにしっかり取り組んでいくことが責務であると考えている。

問 サンドーム福井でのイベント開催時の、駅を中心とした交通体制は。

答 サンダーバード・しらさぎの廃止により、来訪者や一般利用者に影響が出ることは危惧している。ハピラインふくいとの調整の中で、可能な限り臨時便や車両を増やす対応をしていきたいとの回答を得ているが、そのほかの交通体制などについても、今後も関係機関と協議しながら検討していきたい。



今後の市民の利便性と
まちのにぎわいは

【その他の質問】

- ・今日的課題に対応した新年度体制等について
- ・新幹線開業・冠山峠道路開通で、誘客の取組
- ・地域循環社会について
- ・指定管理者制度について
- ・森林環境税の活用と市としての森林整備は
- ・「笑顔あふれる」暮らし

ここが聞きたい！

一般質問

一般質問とは…

市の様々な課題等について、議員が市長や理事者に対して考えを聞くものです。議員は政策提言も含めて質問することができ、内容は自由です。



ページ	質問者	質問内容	ページ	質問者	質問内容
p.10	ほりかわ ひでき 堀川 秀樹	1. インバウンドや国内旅行に対する体験型観光の在り方について 2. クラウンロード開通に伴う観光誘客について 3. 水道管の老朽化、耐震化について	p.12	とうい ただよし 東井 忠義	1. 市政に羅針盤がないのでは 2. 賃上げ要請について 3. 高齢者施策の対象年齢について 4. 新幹線敦賀延伸への対応状況 5. 市区長会連合会交付金について
	にしの ゆか 西野 有香	1. 鯖江の保育の現状について 2. コミュニティ活性化について		だいもん よしかず 大門 嘉和	1. つつじバスについて 2. 食品ロス削減への取組
	さかい ゆきこ 酒井 友季子	1. 福祉タクシーチケットの今後の発行について 2. 屋内遊戯施設(全天候型子どもの遊び場)について 3. 鯖江市公式SNSアカウント運用について		そら よしひで 空 美英	1. 市内中学校で発生したいじめについて 2. 鯖江駅再整備計画見直しについて 3. 最近、猿・熊などの有害鳥獣が頻繁に出没しているが、それに対する安全対策について
p.11	かとう まさる 加藤 優	1. 災害時の情報収集と情報伝達について 2. HPVワクチン接種について	p.13	たなか よしゆき 田中 良幸	1. 熊などの鳥獣類や不審者情報と防災情報の一元化について 2. 町内通信プラットフォーム「結ネット」について 3. 中心市街地活性化をめぐる施策について
	えはた かすたか 江端 一高	1. 鯖江市将来ビジョンについて 2. 熊などの鳥獣害対策について 3. 資源ごみについて		つちだ ひかる 土田 光	1. 鯖江市ひとり親家庭置い事支援事業について 2. 物価高騰対策としての子育て支援について 3. 鯖江駅前の美化について 4. 不登校支援について
	はやししたとよひこ 林下 豊彦	1. 学校給食について 2. 物価上昇に伴う契約内容見直しについて 3. 鯖江市管理の施設の設備環境について			

※質問内容のうち、下線が引かれたタイトルは、右側に記載のページに詳細を掲載しています。



ほりかわ ひでき
堀川 秀樹〔さばえ結の会〕



インバウンドや国内旅行に対する 体験型観光の在り方について

問 丹南地区のものづくり文化を生かした、体験型観光の需要を取り入れた取組について、市や広域での考えは。

答 現在、鯖江市を拠点とした体験型観光の代表的な取組として「RENEW」があり、このような体験型観光の通年化ができないかと考えている。広域的な取組としては、丹南広域観光協議会が、昨年度に丹南地域の魅力ある地域資源を観光素材集としてまとめている。また、開始を目指している丹南広域タクシーの定額運行や、10月に大阪で開催されたツーリズムEXPOジャパ



体験型観光需要の
取り入れを

ンへの共同出展、大垣市でのPRなどを鯖江市の呼びかけにより行っている。

丹南5市町連携による広域周遊観光を強化することにより、誘客や消費額の拡大が期待されることから、今後も連携を強化し、観光誘客に取り組んでいく。

クラウンロード開通に伴う 観光誘客について

問 クラウンロード開通に伴う、中京方面からの観光誘客についての考えは。

答 今後は、クラウンロードを利用した来訪者の増加が大いに期待できると考えている。クラウンロードから河和田地区を通して市内外の各方面に訪れていただくため、池田町内の県道と町道の道路標識に鯖江市の表記を追記した。また、さばえつつじまつりや越前漆器まつりなどのイベントについても、中京方面に向けてPRしていく。



にしの ゆか
西野 有香〔SABA LABO〕



鯖江の保育の現状について

問 保育所等の入所結果通知が遅いとの声があるが、ライフプランにも関わるため、入園に関わる全体的な日程をもっと前倒しすることを目指してほしい。また、入園準備物の規格が各園で異なり、入園説明会で配付される資料を待たなければ詳細が分からない。入園準備物の統一や、入園のしおりと同じく、各園の準備物等の情報を公開・周知することについての考えは。

答 要望を受け、今年度は入園面接時期を約10日早めたが、職員配置等の入所調整には一定の時間がかかることは理解いただきたい。今後は、さらに入所決定事務や、

公立園の入園準備物の基準を見直すとともに、市のホームページに分かりやすく掲載・周知する。

問 「保育の必要性を確認する書類」について、父母以外に市内居住の65歳未満の祖母に証明の提出が求められているが、仕事や社会活動をされている方も多い。また、育児は母親や祖母がするものというようなジェンダーバイアス(性別に対する思い込みや偏見)のある文言は、ジェンダー平等を掲げる鯖江市の文書の中にあってはならないのではないかと。保育の必要性を確認する対象者は、父母のみとしている自治体も多数あるが、市の考えは。

答 ジェンダーバイアスの観点や申請者の利便性、入所事務の円滑化等も踏まえ、65歳未満の祖父母の証明の提出を求めないよう検討していく。



入園事務の効率化を



さかい ゆきこ
酒井 友季子〔ふくいの党・鯖江〕



福祉タクシーチケットの 今後の発行について

問 外出困難な在宅の障がい者に対し、タクシー料金の一部を助成しているが、以前は1度の乗車で複数枚のチケットが利用できたところ、平成22年度の変更により、1枚までの利用となった。改正前のように複数枚の利用を望む声が多くあるが、今後、利用者がより使いやすい方法を模索し、変更する必要があるのではないかと。

答 改正は利用者の声を反映したものであり、その後もアンケートを行うなどの意見収集等を行っているが、多様



福祉タクシー
チケットの
利用見直しを

化するニーズに対応した見直しが必要と考える。障がい者の社会参加を促し、生活の質向上につながる制度となるよう検討していく。

屋内遊戯施設 (全天候型子どもの遊び場)について

問 屋内遊戯施設のアンケートについて、今まで市が収集した意見は、ほとんどが大人から集めたものである。大人が過ごしやすい場所ではなく、子どもたちが遊びたくなる場所をつくってほしい。今後、当事者の子どもたちからも、ヒアリングする場を設ける考えはあるのか。

答 子どもの意見を直接聞くことは、こどもまんなかのまちづくりを進めている鯖江市にとって大変重要なことである。今後計画を進めていく中で、事例等を研究しながら、実施する方向で検討していきたい。



かとう まさる こうめい
加藤 優 [公明党]



災害時の情報収集と情報伝達について

問 災害時の、市民の情報収集の手段は。

答 防災行政無線のほか、市のホームページ、緊急情報一斉配信メール(ライデン)、区長会を通じた「結ネット」、こしの都ネットワークのライフラインメール、携帯電話等への緊急速報メール、エリアメール、テレビのデータ放送、各種防災アプリなど、様々な手段がある。

問 防災行政無線の重要度は。

答 現在、40基のデジタル同報防災行政無線通信施設を設置しているが、デジタルデバイスが浸透している現在において、今後も維持することが適当であるかも含め、

今年度中に最適な防災情報伝達の仕組みを構築していく必要があると考える。

問 280メガヘルツ防災無線システムの導入は。

答 現在、音達調査や伝播調査を実施しており、280メガヘルツ防災無線システムについても、先進事例の情報収集、調査研究に努めていく。

HPVワクチン接種について

問 令和6年度末で接種期限を迎えるキャッチアップ接種対象者と、定期接種対象の高校1年生相当の対象者について、接種の個別通知は行うのか。

答 個別通知を行う予定である。

また、国・県の広報等や、子宮頸がん啓発プロジェクトを発足している鯖江市役所JK課の力も借りながら、接種についての効果的な啓発に努めていく。



HPVワクチンの周知を



えばた かずたか ゆい
江端 一高 [さばえ結の会]



鯖江市将来ビジョンについて

問 現在策定中である、市の将来ビジョンの根幹に据える理念と目的は。

答 市長 理念については、非常に重要なものと認識しており、慎重に検討を進めている。今後、市が考える将来のまちづくりの方向性を発信・共有すること、市民と行政が共に歩んでいくための羅針盤とすること、官民連携によるまちづくりの取組を促進することに活用していきたい。

熊などの鳥獣害対策について

問 緊急時の対応体制は、確立されているのか。

答 日頃より、市と鯖江署との間で情報共有と相互連携

をし、9月には県主催のツキノワグマ出没対応訓練を鯖江市で行っている。今年は熊が大量出没していることから、痕跡箇所や学校周辺等のパトロール、監視カメラの設置や対応職員の増員により、対応している。

資源ごみについて

問 週1回の資源ごみの回収日が祝日等に重なった場合、回収が行われない週が発生する。解決のために、各地域に常設の資源ごみステーションを設置してはどうか。

答 資源ごみが収集できない翌週の収集については、コンテナを増設する等の対応をしている。また、年末年始等で祝日が続く場合は、2週続けて収集できない状況は避けるよう調整している。資源ごみステーション設置については、場所の選定や改修費用など慎重に検討していく必要がある。



はやした とよひこ しんせいふう
林下 豊彦 [新清風会]



学校給食について

問 小学校給食で、品数が少なかったり、家庭からおかずや空の弁当箱を持参するよう依頼があるなど、十分に提供できていない事案があった。また、中学校給食の納入業者からは、厳しい経営状況について聞いており、給食提供に不安定さを感じる。調理員の人員配置や給食納入業者への対応など、危機管理についての考えは。

答 コロナ禍での調理員の急な体調不良や欠員等により、献立の変更や提供の中止、後片付け業務の軽減のために弁当箱の持参をお願いした事例があった。

答 教育長 調理員の人員確保が難しく、将来的には、複数校の調理を拠点校に集約する、全校分を一括調理する、各校の給食室で調理をする業務委託など幅広く検討

していく。中学校の給食納入業者については、定期的な協議に加え、経営上の課題や要望なども聞き取りする場を設けていく。

物価上昇に伴う契約内容見直しについて

問 市の業務委託契約について、物価高騰の影響により、事業者の負担が増加した場合の支援は。

答 市の契約約款において、工事については、契約時点から資材価格等の変動額が請負金額の1%を超えた場合は、契約変更の協議を行うこととしており、業務委託や物品購入についても、協議の上、契約金額や内容を変更することができるとしている。

意見 エネルギー価格の高騰や物価高、人件費の上昇などを考慮し、財政難を理由に事業者負担を強いることのないよう強く要望する。



とうい ただよし しせいしんふう
東井 忠義〔市政新風会〕



市政に羅針盤がないのでは

問 行政は、政策・施策・事務事業という3層の政策体系から成り立っており、一般には総合計画において定められる。市政を総合的・計画的に進めるためには、市政の羅針盤として総合計画が必要ではないか。

答 市では、まち・ひと・しごと創生総合戦略に、第5次総合計画の重点施策であった鯖江ブランドづくりと人の増えるまちづくりを継承させることによって、総合戦略を本市のまちづくりの最上位計画として位置づけた。現在は、総合戦略の改訂や将来ビジョンの策定を進めており、総合計画策定の予定はない。

意見 総合戦略は地方創生に特化した計画であることから、市政全般にわたる羅針盤とすることは疑問である。また、総合計画がないのは県内9市の中で鯖江市だけである。一旦、総合計画の策定を中止したが、条例で義務化し、再び策定するようになった自治体や、総合計画と総合戦略を一体的に策定し、策定作業の軽量化を図る自治体もあるため、今後検討してはどうか。

また、鯖江駅東口等整備事業が再検討に至ったことは、施策面での検討が不十分であった証拠であり、6,000万円もの費用を無駄にしたことは非常に問題である。



市政の羅針盤として
総合計画の検討を



だいまん よしかず しみんそうせい
大門 嘉和〔市民創世会〕



つつじバスについて

問 利用者の声や要望などは。その改善策は。

答 循環線がJR鯖江駅バス停を起点に時計回り、反時計回りで1周60分のパターンダイヤ化されたことや、JR鯖江駅および神明駅バス停にて、各地区路線と循環線の接続を重視したことで、ダイヤの利便性が向上したとの声が多くあった。一方で、鉄道との接続の利便性向上や、バス停の位置変更についての要望があった。

バスと鉄道との接続については、ハピラインふくい開業に伴い、4月1日からのダイヤ改正を予定しているが、個別の要望に対しては、5年ごとに行われている鯖江市地域公共交通計画改定の際の検討材料とする。また、バ

ス停の位置変更については、地元と協議の上、可能なものについては随時変更し、対応していく。

問 フリー乗降制の導入についての考えは。

答 県内自治体や民間路線バスでの導入事例の確認や、警察および運輸局、つつじバス運行事業者に対して協議を行った結果、安全を最優先に運行する観点から、フリー乗車については難しいと判断している。しかし、フリー降車については、交通量が少なく、安全を最優先に運行ができると判断された立待線、豊線、片上・中河線の一部区間については、令和6年度の1年間を実証期間として実施したいと考えている。実証期間中の意見や利用状況を見極め、令和7年度以降の対応につなげていきたい。



フリー降車制を
実証実験予定のつつじバス



そら よしひで しみんそうせい
空 美英〔市民創世会〕



市内中学校で発生したいじめについて

問 第三者委員会の調査専門委員の選任方法は。また、調査の中間報告はあったのか。

答 選任方法については、事案の関係者と直接の人間関係・利害関係を有しない人物を、弁護士会・医師会等の職能団体からの推薦により委嘱している。また、調査は非公開で行われており、中立性を保つため、市教育委員会は事務的な手続以外は関わっておらず、中間報告等も受けていない。調査の進捗状況については、調査に影響のない範囲で報道発表がされている。

問 委員会の開催状況は。また、必要経費が840万円と高額だが、その内訳は。

答 調査報告までを含めた25回程度の開催を予定しているが、今後増えることも想定される。必要経費の大半は、委員報酬や調査員への業務委託料であり、ほかに反訳や取りまとめ業務にかかる経費、会場賃借料や通信費等を計上している。

問 いじめ未然防止のための具体的な取組は。

答 教育長 市内全教職員を対象に、いじめ・不登校の未然防止・対応についての研修会を開催し、市内小学4年生と中学1年生を対象に、いじめ予防授業を行い、いじめの定義やいじめとなった事例を取り上げた学習を行っている。いじめの早期発見、初期の適切なチーム対応の必要性について、今後も、繰り返し研修やケーススタディーを行い、未然防止の周知徹底を図っていく。



いじめの未然防止を



たなか よしゆき そうそう
田中 良幸〔創造〕



熊などの鳥獣類や不審者情報と 防災情報の一元化について

問 災害情報のほか、熊などの鳥獣類や、不審者の情報を、市はどのように捉えているのか。

答 市民の身の危険という観点から言えば、地震や豪雨などの防災情報と、熊を含む鳥獣害や不審者情報は同等であると認識しており、最優先で市民に伝えるべき内容と考えている。

情報の伝達方法としては、熊については、緊急情報一斉配信メール(ライデン)、区長会を通じた「結ネット」、市のホームページ、こしの都ネットワークのライフラインメールにて情報伝達を行っている。また、イノシシや

鹿などの鳥獣の情報は、目撃情報があまりないことから、今のところ情報提供は行っていない。また、不審者情報については、福井県警察本部が運用している、ふくい安全情報ネットワークシステム(リュウピーネット)やこしの都ネットワークのライフラインメールにて発信している。基本的には、ライデンを情報発信の主軸として考えている。

問 市民に危害が及びそうな情報をすべて統括した、専用の部局を設置することへの考えは。

答 全国や県内の市の状況を見ると、防災安全の専用セクションを、課のレベルから部のレベルに上げて設置している自治体があることは承知している。



防災・熊・不審者情報の
一元化を



つちだ ひかる ゆい
土田 光〔さばえ結の会〕



鯖江市ひとり親家庭習い事支援 事業について

問 この事業の趣旨や目的は。

答 習い事は子どもの興味関心を広げ、心身の健やかな成長の一助となる大切なものである。県の調査によると、ひとり親家庭で習い事をしない理由のうち、約4割が経済的理由を挙げており、ひとり親家庭の子どもに対して費用の一部を助成し、子どもの成長を支援する目的で実施している。

問 来年度以降も継続して行うのか。

答 この事業は10月に開始したばかりであり、新年度に向けた習い事を始めるきっかけにもなると考えているため、来年度についても継続する予定である。

問 大阪市や南房総市では、ひとり親家庭以外にも習い事支援を行っているが、鯖江市でも同様の支援をすることはできないのか。

答 開始して間もない事業であるため、今後の利用状況や市民の声、ほかの子育て支援事業など様々な観点から考え、また今後の県の動向も注視しながら、必要に応じて検討していきたい。



子どもの成長の一助として
習い事の支援を

一般質問を見てみよう！

市役所の議場で

鯖江市議会は、市役所の議場で傍聴することができます。



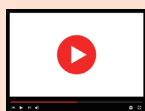
こしの都TV9チャンで

こしの都TV9チャン(旧:丹南ケーブルテレビ)で生中継・録画放送を行っています。



YouTubeで

YouTubeの鯖江市議会チャンネルで、動画を配信しています。
*右のQRコードまたは各議員の質問欄に掲載のQRコードを読み取ることで視聴できます。



会議録で

鯖江市議会の会議録検索ページから、会議録の閲覧ができます。
*掲載までに時間がかかる場合があります。順次掲載いたしますので、ご了承ください。



議案と結果・賛否

○…賛成、×…反対、欠…欠席 をあらわします。

議案番号	件名																		付託委員会	
	三村 尚司	田中 良幸	加藤 優	土田 光	堀川 秀樹	西野 有香	東井 忠義	酒井友季子	林下 豊彦	江端 一高	大門 嘉和	空 美英	福原 敏弘	佐々木一弥	遠藤 隆	埴山 明朗	石川 修	木村 愛子	末本 幸夫	玉邑 哲雄

【8月30日提出・11月29日議決】

議案第67号	令和４年度鯖江市一般会計歳入歳出決算の認定について																		決算特別	
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	認定
議案第68号	令和４年度鯖江市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について																		決算特別	
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
議案第69号	令和４年度鯖江市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について																		決算特別	
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
議案第70号	令和４年度鯖江市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について																		決算特別	
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
議案第71号	令和４年度鯖江市総合開発事業特別会計歳入歳出決算の認定について																		決算特別	
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
議案第72号	令和４年度鯖江市水道事業会計決算の認定について																		決算特別	
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
議案第73号	令和４年度鯖江市公共下水道事業会計決算の認定について																		決算特別	
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
議案第74号	令和４年度鯖江市農業集落排水事業会計決算の認定について																		決算特別	
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○

【11月29日提出・同日議決】

議案第79号	令和5年度鯖江市一般会計補正予算(第6号)																		総務・教民	
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	可決

【11月29日提出・12月22日議決】

陳情第3号	健康保険証廃止の中止を求める陳情																			総務
	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	-	×	×	×	×	×	×
議案第80号	令和5年度鯖江市一般会計補正予算(第7号)																			総務・産建・教民
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
議案第81号	令和5年度鯖江市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)																			教育民生
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
議案第82号	令和5年度鯖江市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)																			教育民生
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
議案第83号	令和5年度鯖江市水道事業会計補正予算(第1号)																			産業建設
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
議案第84号	令和5年度鯖江市公共下水道事業会計補正予算(第1号)																			産業建設
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
議案第85号	令和5年度鯖江市農業集落排水事業会計補正予算(第1号)																			産業建設
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
議案第86号	鯖江市監査委員条例の一部改正について																			総務
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
議案第87号	鯖江市長等の給与および旅費等に関する条例および鯖江市議会の議員の議員報酬および費用弁償等に関する条例の一部改正について																			総務
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○

※佐々木議長は採決に加わっていません。

議案番号	件名																			付託委員会	
	三村	田中	加藤	土田	堀川	西野	東井	酒井友季子	林下	江端	大門	空	福原	佐々木一弥	遠藤	帰山	石川	木村	末本	玉邑	議決結果
	尚司	良幸	優	光	秀樹	有香	忠義		豊彦	一高	嘉和	美英	敏弘		隆	明朗	修	愛子	幸夫	哲雄	

議案第88号	鯖江市一般職の職員の給与に関する条例および鯖江市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正について																		総務
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○
議案第89号	鯖江市税条例の一部改正について																		教育民生
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○
議案第90号	鯖江市水道事業の設置等に関する条例および鯖江市下水道事業の設置等に関する条例の一部改正について																		産業建設
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○
議案第91号	鯖江市文化センター設置および管理に関する条例の一部改正について																		教育民生
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○
議案第92号	鯖江市嚮陽会館等における指定管理者の指定の期間の変更について																		総務
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○
議案第93号	鯖江市民活動交流センターにおける指定管理者の指定について																		総務
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○
議案第94号	さばえ SDGs 推進センターにおける指定管理者の指定について																		総務
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○
議案第95号	鯖江市健康福祉センターにおける指定管理者の指定について																		教育民生
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○
議案第96号	鯖江市農林業体験実習館における指定管理者の指定について																		産業建設
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○
議案第97号	ふれあいみんなの館・さばえにおける指定管理者の指定について																		産業建設
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○
議案第98号	鯖江市越前漆器伝統産業会館における指定管理者の指定について																		産業建設
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○
議案第99号	道の駅西山公園における指定管理者の指定について																		産業建設
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○
議案第100号	鯖江市都市公園等における指定管理者の指定について																		産業建設
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○
議案第101号	鯖江市尾花キャンプ場における指定管理者の指定について																		教育民生
	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○
議案第102号	市道路線の認定および廃止について																		産業建設
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○
議案第103号	専決処分の承認を求めることについて(令和5年度鯖江市一般会計補正予算(第5号))																		総務
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○

【12月22日提出・同日議決】

議案第104号	鯖江市教育委員会委員の任命について																			－
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○
議案第105号	鯖江市公平委員会委員の選任について																			－
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○
市会案第6号	市長専決事項の一部改正について																			－
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○

※佐々木議長は採決に加わっていません。

【次回】 第444回 3月定例会日程（予定）

日 付	会 期 日 程	こしの都TV9チャン放送予定 (旧：丹南ケーブルテレビ)
2月21日(水)	10時 本会議 (提案理由説明、議案先議、委員長報告・採決)	生放送
26日(月)		18時 再放送(2/21本会議分)
3月4日(月)	10時 本会議 (質疑、一般質問)	生放送
5日(火)	10時 本会議 (一般質問)	生放送
6日(水)	10時 本会議 (一般質問)	生放送
7日(木)	9時30分 常任委員会	-
8日(金)	9時30分 常任委員会	-
11日(月)	13時30分 常任委員会	-
12日(火)	13時30分 常任委員会	18時 再放送(3/4本会議分)
13日(水)		18時 再放送(3/5本会議分)
14日(木)		18時 再放送(3/6本会議分)
21日(木)	10時 本会議 (委員長報告・採決)	生放送
25日(月)		18時 再放送(3/21本会議分)

※ 進行状況により時間の変更が生じる場合があります。

※ 委員会の放送はありません。

あなたの写真で表紙をかざってみませんか！

あなたの写真が表紙になります！

鯖江市内で撮影された素敵な写真をご応募ください。

表紙に採用された方には、
素敵な賞品 (地場産品等5,000円相当) をプレゼント！



応募する写真

鯖江市内で撮影された人物・風景・行事などの写真

応募方法

お名前、連絡先、写真の撮影場所をご記入の上、議会事務局へEメールか、郵送、またはご持参ください。

*応募フォームから
もご応募いただけます



次号の応募締切

令和6年4月19日(金)



今回の応募作品(一部)



E・I さん



吉田 さん

編集後記

12月定例会が終わったと思ったら、もう3月定例会の時期がやってきました。今号では、動画が見られるQRコードに加え、カラフルな色使い、12月定例会の審査結果の分かりやすさ、各議員が質問した項目すべてを掲載するなど、より親しみやすく、分かりやすいご報告となるように工夫をしてみました。

今後も広報委員会一同、創意工夫の下、皆さまに大切な情報をお伝えできるよう努めてまいります。

広報委員 西野 有香

今号は、12月定例会の内容を掲載しており、発行時の状況と一致しない場合があります。